

## ■コメント

### 1 新型コロナウイルス感染症

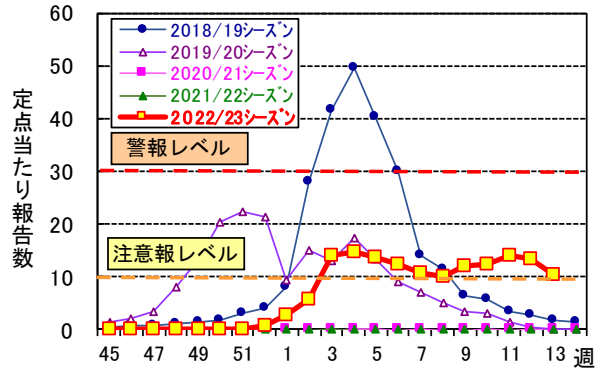
第13週に777件の報告がありました。新規感染者数は、ほぼ横ばいで推移していましたが、前週の約1.1倍とやや増加しました。感染を再拡大させないためには、一人一人が基本的な感染予防対策を続けることが大切です。また、体調が悪いときは外出や会食を控えましょう。

### 2 インフルエンザ

定点当たり10.47人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。

新学期が始まると、人と人との接触機会が増え、感染が広がるおそれがあります。引き続き、手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
第13週 A型:68人、B型:0人

### 3 腸管出血性大腸菌感染症

4件の報告があり、今年の累計は7件(昨年同時期:0件)と多い状況です。(次ページ参照)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	377	10.47	0.88	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07	
小児科	咽頭結膜熱	5	0.21	0.17		小児科	RSウイルス感染症	9	0.38	0.31	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.58	1.35	◇		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03
	感染性胃腸炎	77	3.21	4.58	◇	基幹	流行性角結膜炎	5	0.63	0.45	
	水痘	4	0.17	0.24			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.10			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	4	0.17	0.30			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.88	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	40歳代・推定感染地域:国外・1人、70歳代・2人、80歳代・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	4	7	20歳代・O26、50歳代・O26、60歳代・O26・市外、70歳代・O26
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	60歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	80歳代
5	梅毒	6	59	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・4人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	70歳代

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎	
		広島市	第9週	444	6	13	139	1	-	-	2	-	2	3	2	2	-	-	-	-
	第10週	462	7	19	134	-	2	-	5	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	522	9	8	104	4	-	1	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第12週	495	-	21	78	2	-	-	4	1	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
	第13週	377	5	14	77	4	-	-	4	2	-	9	-	5	-	-	-	-	-	-
定点当たり	第9週	12.00	0.25	0.54	5.79	0.04	-	-	0.08	-	0.08	0.13	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-
	第10週	12.49	0.29	0.79	5.58	-	0.08	-	0.21	0.04	0.08	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	14.11	0.38	0.33	4.33	0.17	-	0.04	0.25	0.04	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第12週	13.38	-	0.88	3.25	0.08	-	-	0.17	0.04	-	0.33	-	0.13	-	-	-	-	-	-
	第13週	10.47	0.21	0.58	3.21	0.17	-	-	0.17	0.08	-	0.38	-	0.63	-	-	-	-	-	-
全国	第11週	8.42	0.17	0.52	5.36	0.08	0.07	0.01	0.23	0.06	0.03	0.39	0.01	0.20	0.01	0.02	0.03	-	0.01	0.01
	第12週	6.44	0.16	0.48	4.21	0.07	0.07	0.01	0.20	0.06	0.03	0.42	0.01	0.16	0.01	0.03	0.03	-	0.01	0.01

## ■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第13週(3月27日～4月2日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
41	66	121	112	120	124	71	65	57	-	777

【累計報告数(4月2日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
47,570	52,608	54,284	55,874	58,866	41,372	22,833	17,163	15,924	404	366,898

### 新型コロナウイルス感染症の相談窓口

コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566

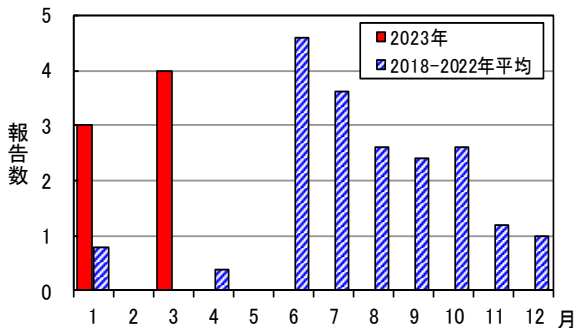
全日24時間対応

\* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

## 腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！！

腸管出血性大腸菌は、「ベロ毒素」と呼ばれる毒素を産生する大腸菌で、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、汚染された手指などを通して菌が口に入ることによって感染します。腸管出血性大腸菌は熱に弱く、75℃で1分間以上の加熱で死滅します。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)  
(2023年4月2日現在)



予防のために、次のことに注意しましょう。

- 食肉は、中心部まで十分に加熱しましょう。
- 生野菜や調理器具は十分に洗浄しましょう。
- 食品は長時間室温に放置せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。
- 調理の前、食事の前、トイレの後、排泄物の処理をした後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症Q&A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

感染症情報/腸管出血性大腸菌感染症(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-joho/263.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp